

令和4年6月28日	資料 1
第4回 効果的・効率的な実施方法等に関する ワーキング・グループ	

前回の指摘事項について

ひと、暮らし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

評価体系に関する指摘事項と論点①

指摘事項①

- 保健指導前に絶食等により体重減少して目標を達成できるのではないか。
- 実施者がポイントを得るために改善目標等を定型化すれば、保健指導の質を下げることになるのではないか。
- アウトカム評価の部分のポイントが低いのではないか。合計90pの上限は低いのではないか。
- 250p以上をやらないとしっかりした効果が得られないのではないか。
- 禁煙を達成できたら、180pという位考えても良いのではないか。
- 禁煙の達成の目安は一般的には6ヶ月である。

論点

- 第4期の見直しにおいては、特定保健指導をアウトカムを主体としてプロセスも併用する評価体系を推進する中で、一時的な体重減少等をアウトカムとして捉えうる一方で、アウトカム評価の客観性に留意が必要な点を踏まえ評価体系をどう考えるか。
- 特定保健指導において、アウトカムを評価することの難しさについて指摘がある一方で、アウトカム評価を推進することも重要であることも踏まえ、ポイントの設定についてどう考えるか。
- 禁煙の成功によるメリットについて指摘がある一方で、特定健診・保健指導は内臓型肥満に着目したものであること、行動変容の重要性は保健指導対象者によりさまざまであること、禁煙に関しては保健指導だけでなく禁煙外来等による介入が考えられることを踏まえ、行動変容の一つとして禁煙のポイントの設定についてどう考えるか。

評価体系に関する指摘事項と論点②

指摘事項②

- アウトカム評価の評価時期はいつか明確化すべきではないか。
- 行動変容は継続することが重要であることを踏まえた評価が重要ではないか。
- 行動変容は、客観的に評価を行うため、行動目標として明確なものとなるように例示すべき。
- 継続的支援における個別とグループが同じポイントであれば、グループでの実施が増えるのではないか。

論点

- 第3期の見直しの際に、特定保健指導の質を確保しつつ、対象者の負担の軽減も図りながら、利用者の拡充に対応する等の観点から、実績評価までの期間を6ヶ月から3ヶ月に見直している。アウトカム評価の評価時期は初回面接から3ヶ月経過以降の実績評価時としてはどうか。
- 行動変容の基準は、一定の継続を評価する観点から、2ヶ月以上の行動変容の継続が認められる場合に改善と評価することとしてはどうか。
- 行動変容の内容については、対象者にとって達成可能で、指導者が客観的な評価を可能となるよう、科研の成果等を踏まえ、標準的な健診・保健指導プログラムで提示することとしてはどうか。
- 継続的支援の各介入方法については、最低限の量を担保する観点から実施のための最低時間を設けている。このため、引き続き第4期の見直し以降も、支援1回当たり最低時間を設定することとしてはどうか。

【具体的な評価体系】

（アウトカム評価）

- アウトカム評価の主要な目的として、モデル事業において2cm,2kgの減少を達成した場合は保健指導終了としてきたことを踏まえ、2cm,2kgを達成した場合は180Pとなることとしてはどうか。
- 2cm,2kgを達成できなかった場合の中間的なアウトカムとして1cm,1kgが考えられる。ただし、1cm,1kgについては測定誤差や一時的な食事量の減少で達成される懸念が指摘されているため、この達成のみでの評価水準には留意が必要ではないか。
- 特定保健指導において調査することとしている「食習慣」、「運動習慣」、「喫煙習慣」、「休養習慣」、「その他の生活習慣」における行動変容について評価することが考えられるのではないか。ただし、行動変容を客観的に把握することが困難な場合があるため、厚労科研において保健指導の質を評価する項目として位置づけられているセルフモニタリング等に基づき、実績評価時に評価することとし、評価水準についても留意が必要ではないか。
- 「禁煙すると体重が増加する」「疾患で体重減少が難しい」といった事例が考えられるが、行動変容を評価することでアウトカム評価とし、プロセス評価と併せて目的を達成できるようにしてはどうか。

【具体的な評価体系②】

（プロセス評価）

- 保健指導の目的が達成されるようなプロセスを評価するべきである。健診実施日から早期に保健指導を実施することで、実施率の向上や対象者の負担軽減、保健指導効果の向上が期待できるため、早期の保健指導実施を評価してはどうか。
- これまでの評価体系において、時間の配分に応じたポイントが設定されていたため、時間を消費するため内容の伴わない指導となる場合があるという指摘がある。このため、面接の量ではなく質の評価となるよう、時間に比例するのではなく、必要な内容を満たす面接を1回として評価することとしてはどうか。
- また、実績評価時に120ポイント分の保健指導が実施されるなど支援量の大半を実績評価時となっている場合があるとの指摘がある。このため、実績評価前に介入がなされるような評価体系としてはどうか。
- また、支援Aと支援Bの違いが曖昧であり運用上わかりにくいとの指摘があることから、評価手法を支援Aと支援Bの区別なく一本化してはどうか。

「見える化」に関する指摘事項と論点

指摘事項

- 保健指導の実施内容を分析することが必要なため、保健指導の内容についてのデータが必要ではないか。
- 保健指導の内容については、実施者の入力負荷に配慮が必要ではないか。
- アウトカム評価を導入し、より有効な特定保健指導の制度を作るためには、保険者等が主体的に、保健指導の取り組み内容を改善するために、国がデータを集めるだけでなく、まずは必要に応じて保険者が独自に情報を収集し、解析・分析していけばよいのではないか。
- 保険者によっては、個人のデータを経年的に分析している。多くは、地区担当の保健師が翌年の健診データの改善を目指して個別支援を継続している。
- リピーターと初対象者の継続率や改善率の比較が必要。初対象者の方が改善率が良いと実感しており、リピーター対策にも焦点を当てる必要があるのではないか。

論点

- 保健指導の効果を分析する際には、より詳細なデータを収集することで充実した分析につながる一方で、保健指導実施における入力負荷やコストの増加が見込まれるため、法定報告の内容として新たに収集する項目は、今回の見直しにおいて新たに必要となるアウトカム等の情報を基本としてはどうか。
- 見える化において分析・評価する項目は、単年度の評価のみではなく、対象者の経年的なアウトカム指標の評価やリピーターに着目した項目としてはどうか。

「見える化」についての方向性（案）

- 見える化を推進するため、アウトカム評価等、現在必須項目ではないものは新たに収集することとしてはどうか。
- 特定保健指導の効果を評価するため、以下の指標について、データの蓄積状況を踏まえ、提供方法を検討することとしてはどうか。

【収集する項目】

種類	項目内容	現在の取扱い
実施年月日	保健指導の実施年月日	既に必須項目
タイミング	健診当日の初回面接、健診日1週間以内の初回面接	既に特定健診受診日と初回面接実施日付として必須項目
方法・時間	個別（分）、個別遠隔（分）、グループ（分）、グループ遠隔（分）、電話（分）、電子メール	必須項目として回数と合計時間の項目あり 遠隔の選択肢がないため追加が必要
実施職種	医師、保健師、管理栄養士、看護師、その他	初回及び最終評価では必須項目
アウトカム	2cm・2kg、1cm・1kg、食習慣の改善、運動習慣の改善、喫煙習慣、休養習慣の改善、その他の生活習慣の改善	食習慣と運動習慣の改善は必須項目、 それ以外は項目がないため、追加が必要

【分析・評価する項目の例】

項目の例	ポイント
2cm・2kg達成割合	保健指導終了者のうち、アウトカムの達成のみを評価
各行動変容指標の状況	各行動変容の状況を把握
保健指導終了者の次年度の改善状況	保健指導終了者について、保健指導の効果が継続しているか評価
禁煙の行動変容があった者の次年度の喫煙の状況	禁煙に関する保健指導の効果を評価
リピーターの保健指導の達成状況	リピーターに着目したアウトカムの達成を評価

その他の指摘事項と論点

指摘事項

- リピーターについて、初回面接で重複する内容を説明することは冗長となり、非効率ではないか。
- ポイントを獲得するために保健指導をするのではなく、アウトカムを達成するために必要な支援を行うことが必要である。特定保健指導は生活習慣病予防の手段であり目的ではないことを関係者が認識できることが必要。

論点

- 前回特定保健指導終了者について、再度保健指導の対象となった場合に、初回面接で実施すべき内容である体重及び腹囲の計測方法の説明等は不要と考えられるため、繰り返しの説明により冗長な初回面接とならないよう、初回面接の最低時間を個別の場合おおむね15分、グループの場合おおむね60分としてはどうか。
- 現在実施している特定保健指導実施率のみの評価ではなく、保険者が特定健診・特定保健指導のアウトカムを評価できるように、体重や行動変容、その他についての効果の見える化をすすめ、特定保健指導のアウトカム評価のデータを積み重ねることで、特定健診・特定保健指導をより効果的なものとなるよう第4期の計画期間において更に検討をすすめてはどうか。